

令和4年度大阪府委託訓練事業に係る
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和3年12月24日（金） 午前10時00分から午前11時30分まで

2 開催方法

Web会議

3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース、企業実習付コース、長期高度人材育成コース）の事業者選定

4 選考委員

中島 康之（大阪府社会保険労務士会）

長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）

末永 光男（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

塚本 文彦（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部

近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和4年度大阪府委託訓練企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和4年度大阪府委託訓練事業企画提案公募要領の6の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和4年度に実施する大阪府委託訓練の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を委員会で評議するとともに、点数の高い順に公募科目に応じて選定した。

7 選考委員発言等要旨

カリキュラム内容、就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・バックデータを用いるなど、背景からしっかりと記載している提案は高く評価した。
- ・求人・求職ニーズに基づいた分析がなされており、それがカリキュラムに反映されているのか、また、就職困難者に対する工夫が記載されているのかについて評価をしたが、そもそも調書の設問に対する答えが無い提案が見受けられた。
- ・自由提案科目について、提案科目名とカリキュラム内容がリンクしないものが見受けられ、訓練を受講しようとする方に誤解が生じないか疑問に思った。
- ・職業訓練の目的である就職に対しての支援をどのように行うのかについて、企画提案書に具体的に記載がされていないと、当然だが評価は低くなり、厳しい点数にな

ってしまう。

- ・就職支援策としてハローワークを紹介するというのも大事な取り組みではあるが、事業者が有する知識やノウハウを活用した独自の取り組みが必要である。また、クラス担任を配置している等、訓練生が相談しやすい環境を整えている提案は、高く評価した。